

声明

全学の英知を結集した 無期転換の制度設計を求める

【要約】

方針見直しに至った経緯を説明すべきである

12月15日の団体交渉で大学は、新たな方針については検討中であるとして何も示さなかつ

た。方針見直しに至った経緯・理由についても説明を拒んだ。当事者たちに丁寧に説明がなされるのが当然である。説明しないばかりか説明を求めても断るといのは経営者としての責任を放棄した態度と言わざるを得ない。

密室での制度設計ではなく全学の英知を結集せよ

12月20日の部局長懇談会では一定の方向を示しながらもかん口令を敷き、あくまで密室内で方針を策定しようとしていくようである。

12月20日の部局長懇談会では一定の方向を示しながらもかん口令を敷き、あくまで密室内で方針を策定しようとしていくようである。

このようなやり方は、また学内外から批判を浴びるであろう。当事者はもとより、学内の要求を汲み取った制度設計をすべきである。情報を公開して要求のすりを合わせを行うべきである。組合はここにあらためて大学当局に対して、方針見直し・再検討に至った経緯・理由について公に説明するとともに、学内の英知を集めて方針策定を行うことを要求する。(編)

希望する人全員を無期雇用に！

35人が北門前で昼宣伝

久しぶりの大宣伝行動でした。

11月15日(火)に行った昼宣伝に、退職者の会の先輩をはじめ、宮城県労働組合総連合(以下県労連)傘下の仲間がたくさん応援に駆けつけてくれました。



「非常勤職員30

00人以上の雇止めは許さない！希望

する人全員を無期雇用に！」の横断幕を掲げ、道行く人々にチラシを配布しました。

不安定雇用労働者をなくすため改正された労働契約法の趣旨に則り、希望者全員を無期雇用にしてほしい！寄せられた署名には働き続けたいとの切実な声が寄せられていると訴えました。

県労連の高橋正行議長と遠藤秋雄さんもマイクを握り、最高学府である東北大学が社会に果たすべき役割や、東北大学の大量雇止めが地域経済に与える影響は大きいと訴えました。

これからも、各キャンパスや街頭での宣伝行動を予定しています。

現憲法の真髄である13か1年後に提出された「自由民主党 日本国憲法改正草案」は驚くべき内容のものです。

東日本大震災から僅か1年後に提出された「自由民主党 日本国憲法改正草案」は驚くべき内容のものです。が重要になっています。

敗戦は破滅である、新憲法は「押し付け憲法」であるという主張がありました。その末裔が今憲法改正を進めようとしています。

昨年9月19日の未明に安保法制が強行成立させられました。立憲主義が破壊されるといふ深刻な状況なかで、私たち法の専門家も、市民とともに運動に参加しています。立憲主義を回復させ、憲法改正を許さないたたかいが重要になっています。

(編〇)

このようなやり方は、また学内外から批判を浴びるであろう。当事者はもとより、学内の要求を汲み取った制度設計をすべきである。情報を公開して要求のすりを合わせを行うべきである。組合はここにあらためて大学当局に対して、方針見直し・再検討に至った経緯・理由について公に説明するとともに、学内の英知を集めて方針策定を行うことを要求する。(編)

憲法9条を守り生かす宮城のついで2016(12)4
樋口陽一氏(東京大学・東北大学名誉教授)の講演
「75年前の12月8日のことから話しましょう」
しょうじく日本国憲法をどう生かすか

75年前の12月8日、条「すべて国民は、個人として尊重される」

日米開戦をラジオで聞いたとき、私は幼少ながら膝のすくむ思いをいたしました。そして、1945年8月15日、終戦の日が解放の日でした。2年後の5月3日には明治憲法に代わって日本国憲法が施行されました。圧倒的多くの国民にとって敗戦と新憲法は解放だったのです。しかし、当時の日本の指導層の中には、敗戦は破滅である、新憲法は「押し付け憲法」であるという主張がありました。その末裔が今憲法改正を進めようとしています。

75年前の12月8日、条「すべて国民は、個人として尊重される」

日米開戦をラジオで聞いたとき、私は幼少ながら膝のすくむ思いをいたしました。そして、1945年8月15日、終戦の日が解放の日でした。2年後の5月3日には明治憲法に代わって日本国憲法が施行されました。圧倒的多くの国民にとって敗戦と新憲法は解放だったのです。しかし、当時の日本の指導層の中には、敗戦は破滅である、新憲法は「押し付け憲法」であるという主張がありました。その末裔が今憲法改正を進めようとしています。

75年前の12月8日、条「すべて国民は、個人として尊重される」

日米開戦をラジオで聞いたとき、私は幼少ながら膝のすくむ思いをいたしました。そして、1945年8月15日、終戦の日が解放の日でした。2年後の5月3日には明治憲法に代わって日本国憲法が施行されました。圧倒的多くの国民にとって敗戦と新憲法は解放だったのです。しかし、当時の日本の指導層の中には、敗戦は破滅である、新憲法は「押し付け憲法」であるという主張がありました。その末裔が今憲法改正を進めようとしています。